

平成 21 年 4 月 27 日

CVVふじた あきじ

● 下手なボヤキもボケ防止 ●

冒頭に頭の体操を試みよう。最近の金融危機とか世界的経済不況についてはグローバル資本主義の終焉とまで論ずる著者がいる。確かにグローバリゼーションが直面している多くの問題がある。いわゆる各国の歴史や環境の違い、教育格差や価値観の違い等、いろいろの格差の問題や結合が世界中に広がるというリスクがある。ところがこのリスク回避の具体策はなかなか見当たらない。

急速に大きくなったグローバル化の波がそのリスク故にローカル化の波も呼び起したと言えるように思う。この二つの波が同時に存在する状態のことをグローカリゼーションと言うらしい。

リスク回避としては、国際的な経常収支の不均衡を解消するという観点からの取組みも必要であるが、人、物、金等の資源の適正な配分を行うという観点からも、経済成長や景気循環という経済問題に取り組む必要がある。

現在の世界的経済不況の問題は、プロを相手に株を売買して手数料を稼ぐ老舗の金融業者・投資銀行リーマンブラザーズがサブプライムローンで自国に見捨てられて潰れ、その連鎖反応で起きたアメリカ発の金融危機にあるというだけではない。根本的には各国の輸出型の製造業とそれ以外との生産性格差という従来から言われている構造問題もあり、市場のルール整備が重要であると指摘する論説もある。

要するに私が何を言いたいかというと、グローバリゼーションという耳障りの良さそうな言葉に惑わされて来たような気がするということ。グローバリゼーションだけにリスクもグローバル。ボヤキも大きくなろうというもの。

ところで生産性格差についてのミクロ的な観点だが、長年携わってきた技術士としての総合技術監理の立場から考えると、トレードオフ(他者の犠牲を強いる)の関係にある品質管理と原価管理について、それぞれの現状レベルを的確に把握し、品質とコストがより良い状態になるようなリソース(人的資源と情報)を有効に活用すること、即ち最適なリソースの配分を検討し実施することであると思う。ところがその人的資源というところに大きな落とし穴があったのではないか。労力の過度な海外依存、グローバル化の担い手による問題発生があらわれる。

以上もってもらいたい言葉を並べてみました。そして私なりに全く別の観点、人間の本質という観点からまた右脳を働かせて、いつもの様にボヤいてみました。ボケ防止にはもってこいである。

1 教育の問題と格差

戦後の民主教育が結果的に、人の忍耐力、節約力、判断能力、他人に迷惑をかけない自己責任力を無くした。ない無いくして、利己主張力ばかりが強くなった。その結果資源や公費が無駄に使われている。自己責任を忘れて、教育問題その他のあらゆる事故・事件が学校教育担当者や公共事業者とその施設管理者の責任であると追及するあまりに、教育担当者や地方自治体のモーション低下や過大な施設整備で費用が増大する等の問題が発生している。すべてについて先進国と比較してみると教育格差は一目瞭然である。

2 マスコミの責任と無責任

視聴者に対して親の責任や人の忍耐や物の節約等言うべきことを言わないで、国民にとって耳障りのいいことばかり吹聴している。国民の自己責任を問わないで、公共に押付け税金で解決、その税金アップには反対する。言い換えれば人気取り、スポンサーの顔色や視聴率アップに捕われている。そこで一寸洒落てみた、「一言で言えばすべて人ごと。」総選挙は如何にあるべきか、国政が如何に行なわれるべきかということは言わないで、選挙をすればこの世の中が改善される、景気が良くなる等と錯覚させている。そしてまた洒落てみた。「タレント議員にはべったり」。

3 国会議員の常識と非常識

ふたこと目には国民の真意とか総意を選挙で問うと言う。国民の総意と総選挙の結果が同じだと思っているのか、1の教育問題、2のマスコミ責任を知っているのか、はたまた知っていながら知らない素振りなのか。与党は官僚にべったり、野党はファンにべったり、なんでも反対。

4 産業経済の連鎖反応

全ての産業経済活動は相互に連携した生き物である。いわゆる「金は天下の回りもの。」であり「風が吹いたら桶屋が儲かる。」ということ忘れている。評論家自身も目先のことに捉われて、めぐり巡って自分の足元がすくわれるということに気づいていない。国民を正しく誘導してほしい。

5 公共事業と不祥事

不祥事は公共事業とは全く別の問題で、人間形成いわゆる教育の問題である。従って無駄な情報はあっても、無駄な公共事業はない。公共事業に限らず各事業による経済効果はその事業から他の事業へと大きく波及していくもの。公共事業が無くなれば関連事業も無くなり産業経済活動が滞るだけでなく、後世に残すインフラもできない。その結果全般的な景気悪化という連鎖反応が起こる。半面、福祉活動事業費や大企業への公的資金や定額給付金は食べてしまって口を拭えば、はい、それまあ一でえーよ。 以上